

『メタバースとプラットフォーム学』

～いよいよ見えてきた仮想空間での暮らし・働き方・ビジネスの未来～

単なるバズワードではない「メタバース」の本質、
そして社会への実装における課題とは？



情報学と複数領域を連携させ、新しい価値創造を目指すプラットフォーム学。このプラットフォーム学を扱う京都大学「社会を駆動するプラットフォーム学卓越大学院プログラム」では、プログラムの一環として毎月セミナーを開催しています。第14回となる今回は、SDGsのゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」を見据えつつ、多数の企業や団体が取り組みや参入を加速させつつある「メタバース」について、プラットフォーム学的な切り口で議論することがテーマ。エンターテインメントやゲームなどの分野に限らず、この新たな可能性を秘めた技術の進展や、空間を提供する各プラットフォームの動き、ビジネスや体験を展開する事業者らの狙いを見渡した上で、人々の生活や働き方の今後とメタバースの関わりを語り合います。

イベント概要

- 開催：2022年10月6日（木）
- 時間：16:45～18:45（履修生は19:15終了予定）
- 主催：京都大学プラットフォーム学卓越大学院
- 協力：京大オリジナル株式会社／株式会社角川アスキー総合研究所
- 事前応募制／オンラインセミナー（Zoomウェビナー形式※）

※セミナーで参加には、お使いのパソコンやスマートフォンで、Zoomへ接続できる環境を事前に準備いただく必要があります。



お申し込みはこちら
（10月5日12時締切）

登壇者

中馬和彦氏 KDDI株式会社 事業創造本部 副本部長 兼 ビジネス開発部長 兼 Web3事業推進室長
早瀬友裕氏 クラスター株式会社 メタバース研究所

原田博司 教授 京都大学 プラットフォーム学卓越大学院 プログラムコーディネーター



KUSP
Kyoto University School of Platforms

京都大学
プラットフォーム学卓越大学院